

課題研究発表会（2018年3月3日(土)開催） 概要 最新版

カリキュラム部会

2018/01/25

9:00～10:00 M2座談会 A棟324

澤崎 俊之 先生 庄司 康生 先生 大澤 利彦 先生 安原 輝彦 先生

午前 (M1は設営準備、セッティング、動作確認などのため、9:00集合)

受付 10:00～

【M1発表会 10:30～11:45 1時間15分】

【M1発表会(1人15分(12分発表3分質疑応答)残り時間は協議・指導講評など)】

(教育実践＝教育実践力高度化コース 発達臨床＝発達臨床支援高度化コース)

*司会進行は各室とも院生同士が交代で行う

第2室 A棟201(担当:安原 輝彦 先生)

教育実践 現職 石山 勉

学力向上を目指した学校組織マネジメントの研究

—求められる資質・能力を育成する学び合い学習を通して—

教育実践 現職 神山 稔

学習高度化を目指した学校組織マネジメントの研究

—学力向上に向けて取り組む組織の同僚性の構築に視点を当てて—

教育実践 現職 加藤 雄大

教員の資質能力の向上を図る人材育成の在り方

～OJTを通じた教員の授業力向上～

教育実践 現職 永島 慎嗣

チームとしての学校づくりに向けての実践的研究

—同僚性の構築を軸とした教職員一人ひとりが力を発揮できる環境整備を通して—

第3室 A棟203(担当:宇佐見 香代 先生)

教育実践 現職 石田 典子

スタートカリキュラムのあり方についての考察

－幼児期と児童期の学びをつなぐカリキュラムの作成に向けて－

教育実践 学卒 中野 大地

社会科授業における資料の有効活用

－資料が有する特性分析と留意点の一考察－

教育実践 学卒 藤田 莉穂

系統的な古典学習指導の実践的研究

－「比べ読み」を中心に－

第4室 A棟204（担当：磯田 三津子 先生）

教育実践 学卒 菅原 悠平

複数のICTを連動するソフトウェアKIFENのプログラミング

－教育版レゴ®マインドストーム®EV3とKinectの環境設定－

教育実践 現職 中村 憲昭

知識構成型ジグソー法による高等学校数学の授業の単元内における位置付けに関する研究

教育実践 学卒 服部 翼

保健体育の授業におけるICT活用による生徒の思考力・表現力の向上

－ICTを保健体育の授業で活用することの利点と課題点の整理－

教育実践 学卒 鈴木 航平

思考過程の可視化を通じた指導の改善に関する事例研究

第5室 A棟210（担当：小倉 康 先生）

教育実践 学卒 大久保 優子

優れた授業実践のための教師の知識についての研究

－理科を中心に－

教育実践 学卒 斉藤 祐貴

自律性支援に着目した学習意欲を育む理科指導法の研究

教育実践 学卒 清野 玄太

児童の空間認識能力の育成を促す指導の工夫

—理科を中心に—

教育実践 学卒 古谷 由仁穂

生徒の科学的表現力を育む理科指導の工夫

—実験レポート作成の指導を中心に—

第6室 A棟 211 (担当:長江 清和 先生)

発達臨床 現職 佐藤 理絵

共生社会を支える交流及び共同学習の在り方

—共に学び、共に伸びるために、中学校における新たな特別支援教育を目指して—

発達臨床 現職 杉田 明浩

特別支援教育を生かした学校・学級づくり

—中学校における生徒理解を深めるために特別支援教育をどのように実践につなげるか—

発達臨床 学卒 長 千晶

通常の学級に在籍する生徒を対象にしたインクルーシブ教育のあり方

—中学校発達障害・情緒障害通級指導教室との連携を中心に—

発達臨床 学卒 蜂須 麻矢

知的障害を併せ有する自閉症児へのソーシャルスキルトレーニングについて

第7室 A棟 212 (担当:名越 斉子 先生)

発達臨床 現職 関口 昌子

知的障害種特別支援学校における児童生徒の発達段階に応じた指導の研究

—表象機能の発達段階に適した指導支援とその共通理解—

発達臨床 現職 柳澤 真美

知的障害特別支援学校高等部における作業学習の授業改善に関する研究

—生徒の主体性と障害の状態や特性を踏まえた指導—

発達臨床 現職 山本 裕美子

生徒の多様性を認め合い自尊感情を育む教育実践の研究

—心理教育と特別支援教育の視点から—

午後

【全学講義棟 1-301 教室 374 名】

受付 12:30～

開始・挨拶 等 13:00～ 主催者挨拶 埼玉大学 山口 宏樹 学長
13:05～ 埼玉県教育委員会・さいたま市教育委員会
記念講演 13:10～ 「新しい学習指導要領における指導の改善」
文部科学省初等中等教育局 主任視学官 清原 洋一 氏

(休憩)

【附属学校園提案 + M2 発表会 14:10～15:10 1時間】

附属学校提案（各校20分間）

第1室 A棟324（司会担当：？）

附属小学校 松下 洋介 先生

「『学びの本質』を育む授業の創造 -新学習指導要領を見据えた取組-」

附属中学校 佐藤 太一 先生

「新学習指導要領に基づく学習指導法の改善 -教科等の特質に応じた『見方・考え方』
を働かせた学習指導の工夫-」

附属特別支援学校 大崎 由香里 先生 神田 佳明 先生

「一人一人が力を発揮し、活躍する授業づくり～新学習指導要領実施に向けて～」

M2発表会（1人20分（発表15分質疑応答5分）余った時間は協議・指導講評など

（教育実践＝教育実践力高度化コース 発達臨床＝発達臨床支援高度化コース）

* 司会進行は各室とも院生同士が交代で行う

第2室 A棟201

教育実践 現職 榎本 充孝

小学校における一枚ポートフォリオ評価(OPPA)論を活用した校内研修

教育実践 現職 野中 拓二

学校経営と組織マネジメントの研究

-学力向上のための校内研究の改善・充実-

第3室 A棟203

教育実践 現職 榎本 泰

キャリア教育と結びつけた教育実践の研究
ーキャリア教育を基盤に位置づけた進路指導の実践ー

教育実践 現職 原島 淳一郎

信頼される学校づくりを目指したOJT推進
～メンターチームを活用した組織的・協働的な人材育成の研究～

第4室 A棟 204

教育実践 学卒 有江 聖

小学校の外国語における「話すこと」の評価
ー実地研究から見えた行動観察とパフォーマンステストの課題ー

教育実践 学卒 山田 恭平

中学校英語における output 活動のフィードバックの研究

教育実践 現職 山崎 孝雄

単元を貫く言語活動の充実に関する研究
ー児童が主体的に課題を捉え、協働的に解決する授業づくりー

第5室 A棟 210

教育実践 現職 平澤 亜美

主体的に運動に取り組む児童の育成
ー運動嫌い・体育嫌いの児童に着目してー

教育実践 学卒 上野 翔大

未経験者による剣道指導の課題克服に向けて
ー高校での授業実践を通してー

教育実践 学卒 岡井 稜

体育授業において、生徒が声を出すことの意義に関する研究

第6室 A棟 211

教育実践 学卒 中圓尾 陸

コンピュータの仕組みを学習する指導過程の検討と評価

教育実践 学卒 波形 政輝

GeoGebraによる2次関数のグラフのふるまいに着目した授業に関する一考察
ー漫画『黒子のバスケ』のスリーポイントシュートの一場面に着目してー

教育実践 学卒 沼口 敦彦

生徒の科学に対する暫定性と限界性の認識を育む指導法の開発

第7室 A棟 212

発達臨床 学卒 山本 朱音

小学校における交流及び共同学習の現状と課題
ー特別支援学級の児童の社会性を中心にー

発達臨床 現職 稲吉 勝

ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業の工夫
ー小学校における英語授業のユニバーサルデザインー

発達臨床 現職 金子 美里

通常の学級における特別支援教育プログラムの開発
ー愛着の観点をふまえ「見方を変えて味方になる」指導を目指してー

第8室 A棟 213

発達臨床 学卒 鈴木 隆生

知的障害のある生徒の主体的な学習活動への参加を促すティーム・ティーチングの検討

発達臨床 学卒 樺澤 徹

重度・重複障害児を対象とする効果的なスヌーズレンの活用方法に関する研究
ー非言語コミュニケーションの実態把握に向けてー

発達臨床 現職 渡邊 文俊

肢体不自由教育の専門性の維持・継承・発展に向けて
～自立活動の指導に関する専門性を核として～

第9室 A棟 214

発達臨床 学卒 鈴木 萌依

通行の学級に在籍する発達障害のある児童への校内の効果的な連携に関する研究
ー通級指導教室と通常の学級の連携を中心としてー

発達臨床 現職 森川 明子

特別支援学校の学級担任が行う行動問題への対応

発達臨床 現職 佐野 麻由子

知的障害特別支援学校の児童生徒一人一人に応じた自立活動の指導に関する研究
ー感覚と運動の高次化理論を用いた個別の指導計画の効果ー

【ラウンドテーブル 15:20～16:40

1時間20分】

--	--	--

教科	部屋(人数)	内 容
国語	A棟212 (68)	テーマ：「主体的、対話的で深い学び」に向けた授業づくりについて ～小・中・高等学校の若手教員による実践事例から考える～ 埼玉県宮代町立須賀小学校 松本 千秋 先生 さいたま市立上大久保中学校 山本 恭平 先生 埼玉県立川越工業高等学校 佐原 将大 先生
社会	A棟210 (92)	社会科の特質に応じた「見方・考え方」を働かせた学習指導の工夫—中学校地理的分野「関東地方」の実践に基づく提案— 附属中学校 二瓶 剛先生・齊藤 耕太郎先生 中学校社会科における学び合いを中心とした学習指導の工夫 —中学校公民的分野「経済ってなんだ？」の実践に基づく提案— 埼玉大学教職大学院 安原 輝彦 教授 附属中学校 二瓶 剛 先生 空間的な見方・考え方を働かせた社会科らしい学習指導の工夫 —社会がわかり社会にかかわる児童を育てる社会科授業の提案— 附属小学校 矢島 弘 一先生
理科	G棟109 (72)	授業づくりの第一歩～理科の見方・考え方を働かせるってどういうこと？ 附属小・中学校の教員による提案 参加者とグループディスカッション ブース式；教材紹介・実演・ポスター発表→ディスカッション
算数 ・数学	A棟214 (92)	研究テーマ 算数・数学科における「主体的・対話的で深い学び」の具現化 教育学部教員・附属学校教員による提案 公立学校の現職教員からの提案および研究協議
英語	A棟201 (51)	研究テーマ 英語科における「主体的・対話的で深い学び」の実践 実践報告・ワークショップ 附属中学校 高橋 太一 先生・蓬澤 守 先生 教育学部 及川 賢 准教授の解説
保健 体育	体育館	全体像から提示するゴール型球技（バスケットボール）指導についての提案 ～従来の指導法とは正反対の視点を試みる（新学習指導要領への対応も含める）～ 提案者 埼玉大学教育学部 松本 真 准教授 【概要】体育館で実技をし、ラウンドテーブル方式で附属小・附属中の先生方を中心とした参加者に本提案について活発に議論，参加者の先生方（運動希望者）、運動ができる服装（体育館用シューズも）の準備
図画 工作 ・美術	コモ棟6階	附属学校と連携して，新学習指導要領における指導改善について提案・協議する 教育学部 美術分野教員
音楽	音楽第一講義室	研究テーマ 新学習指導要領における音楽科授業のあり方 —附属小・附属中

		<p>による授業実践を通してー</p> <p><附属小学校の実践発表> 「感性を働かせ、主体的・創造的に音楽を伝えようとする児童を育てる指導の工夫」 ・詩と音楽を味わおう ～「ふるさと」の歌唱指導～（6年生：歌唱） 附属小学校 波多江 慶太 先生、納見 梢 先生 三橋 博道 先生</p> <p><附属中学校の実践発表> 「表現と鑑賞の関連を図り、思考力・判断力・表現力をより効果的に育成する学習指導法の工夫」 ・表現したいイメージをもち、2声のアンサンブルの音楽をつくろう（1年生：創作・鑑賞） ・我が国の伝統音楽の魅力を味わおう（3年生：歌唱・鑑賞） 附属中学校 佐藤 太一 先生 辻浦 拓人 先生 提案及び指導講評 教育学部 音楽分野教員</p>
技術	A112 (60)	<p>研究テーマ 新学習指導要領における授業改善の視点と手立て 「3Dプリンター・思考支援ツールを活用した材料加工の授業提案」 附属中学校 木村 僚 先生</p> <p>「植物工場を題材とした教材の開発と指導過程の提案」 連合大学院 埼玉大学配属 佐藤 正直(現職) 先生</p> <p>「新学習指導要領における授業改善の在り方」 教育学部 山本 利一 教授</p>
家庭	A113 (60)	<p>研究テーマ 小学校家庭科から中学校へつなぐ *小学校家庭科の授業報告「ぴかぴか気持ちのよい暮らし：クリーン大作戦」 *関連するショートレクチャー「整理整頓・掃除から快適性・環境の学びへ」 *グループディスカッション 小学校と中学校の家庭科の連携をどうはかるか 家庭科授業の困りごと・授業内容・方法等に関する相談・アドバイス</p>
生活と総合	A322 (40)	<p>研究テーマ 新学習指導要領に対応したスタートカリキュラムの改善 ーカリキュラムマネジメントの実際ー 「学部附属小学校のスタートカリキュラムの実際」 附属小学校 若村 健一 先生</p> <p>「さいたま市のスタートカリキュラムの現状と課題」 東岩槻小学校 石田 典子 (院生)</p> <p>「スタートカリキュラムQ&A」 教育学部 宇佐見 香代 教授</p> <p>「振り返り・まとめ」 教育学部 岩川 直樹 教授</p>
特別支援	A325 (80)	<p>研究テーマ 今、求められる"真"の連携とは ～インクルーシブ教育システムの構築のために～ 「小学校特別支援教育コーディネーターの立場から」 桶川市立桶川小学校 金風 祐士 先生 (H29年度県教委派遣長期研修生)</p> <p>「小学校発達障害・情緒障害通級指導教室担当の立場から」</p>

		<p>ふじみ野市立駒西小学校 中村 美宏 先生 (H29年度県教委派遣長期研修生) 「特別支援学校就学相談担当の立場から」</p> <p>県立上尾かしの木特別支援学校 新井 真由先生 (H29年度県教委派遣長期研修生) 「特別支援学校コーディネーターの立場から」</p> <p>附属特別支援学校 加藤 和子 先生</p> <p>司会進行及びまとめ 教育学部 名越 斉子 准教授 櫻井 康博 教授 長江 清和 教授</p>
教育 相談	A203 (48)	<p>研究テーマ 自信をもって悩む教育相談をするために～実践を後押しする理論の重要性～ 指導者(実施責任者) 沢崎 俊之 専攻長(教授) 戸田市喜沢小学校 黒田 龍生 先生 (平成27年度埼玉大学長期研修生) ふじみ野市教育委員会 須藤 大二郎 先生 (平成26年度埼玉大学長期研修生) 埼玉県立岩槻北稜高等学校 山谷 紀子 先生 (平成27年度埼玉大学長期研修生) (司会者) 附属中学校 長濱 美智子 先生</p>
幼児	A213 (68)	<p>研究テーマ 新しい要領・指針を踏まえた保幼小の接続のあり方 ファシリテーター：教育学部 首藤 敏元 教授 話題提供：「草加市における幼保小中を一貫した教育(仮題)」 草加市教育委員会子ども教育連携推進室室長 嶋田 弘之 先生 「さいたま市公立保育所における保小交流活動の取組(仮題)」 さいたま市子ども未来局幼児未来部保育課 さいたま市立指扇保育園 『『かしこさ』を育てる保育～幼児教育における「学び」とは』 附属幼稚園 小谷 宜路 先生</p>
学び 合う 学校 づく りの 県内 連携	A207 (47)	<p>研究テーマ "学び合う学校"づくりにとりくむ学校相互と大学との県内連携 学び合う学校づくり実践報告No.1 飯能市立富士見小学校 校長 平野 功 先生 学び合う学校づくり実践報告No.2 杉戸町立泉小学校 校長 吉野 知美 先生 幸手市立権現堂川小学校 校長 山崎 正明 先生</p> <p>グループ討議 コメンテーターによるコメント ○根岸 康雄 先生 (前上里町立上里中学校校長・教育学部附属教育実践総合 センター研究員・上里町学力向上指導員・埼玉学びの会代表) ○他1名</p>

【閉会行事 16時40～ 各会場で】